

会議顛末書（議事録）

件名	令和6年度第3回中野市地域クラブ活動推進協議会
日時	令和7年2月20日（木） 18:30～19:55
会場	中野市市民会館（ソソラホール） 小ホール
出席者	（委員） 両澤宏樹（会長）、酒井雄高、大宮真実、中村幹夫、廣江雅洋、佐々木正、春日建章、川上康樹、塩川咲輝（代理：松澤清市）、黒岩滉河、田近佳代子（計11名、敬称略） （中野市） 柴本教育次長、秋元くらしと文化部長、小橋学校教育課長、丸山文化スポーツ振興課長、宮本文化スポーツ振興課長補佐、富田生涯学習課長補佐、芋川学校教育係長、高藤施設係長、金子文化振興係長、本田副主幹、阿藤主任主事、和田指導主事（計12名）
資料	別添のとおり
主な内容	
進行；小橋学校教育課長 1 開会のことば（小橋学校教育課長） 18:30 2 あいさつ （両澤会長） 3 協 議 （座長；両澤会長） 18:32～19:53 （1）第2回協議会の内容確認 （資料1） ○意見等なし （2）令和7年度以降の部活動について （資料2・3；和田指導主事説明） ・「新入生保護者説明会」及び各中学校の「スポーツ文化活動運営委員会」での説明内容と各中学校の令和7年度の部活動の方向について説明する。 ○各中学校の方向を情報共有する。 （南宮中）運動部では少しずつ移行が進んできた状況である。文化部については心配している。 （中野平中）女子バレーは地域クラブで活動している。部活動を7年度夏まで行い、その後クラブ化の方向というところがいくつかある。部活動指導員が入る中、顧問の負担は減っている。 （高社中）ソフトボールは地域クラブが中心の活動となっている。男・女バスケは、7年度秋からクラブチーム化の見通しである。 （豊田中）女子バレーは、地域の指導者を探して地域クラブ化の方向で動いている。卓球は新入生の入部動向により、活動がなくなる可能性もある。 ○意見等 ・部活動の地域移行にあたり、教育委員会には個別の相談にのってほしい。	

(3) 令和7年度の地域クラブ（活動）について

① 学校体育施設開放事業について （資料4；和田指導主事説明）

- ・学校体育施設開放事業は「中野市立小学校及び中学校の教育施設使用条例施行規則」に沿って実施している。使用料の減免については、第9条に規定されており、今年度までもこの規定で運用してきた。令和7年の扱いも、1の①②のように、部活動から移行したクラブや部活動と連携して行われる保護者会等による団体は、施行規則により免除としたい。その他の中学生が参加・活動する団体は令和6年度と同様の対応とする。
- ・使用優先順位については、2のイ、20時までを小中学生が優先的に利用できる時間とし、申込時の優先順を①②のようにする。この他に、中野市内で一般と共に活動する中学生の団体や中野市外に事務局がある中学生の団体は、使用の優先扱いはしない方向で考えている。
- ・休日の日中の使用については、まず学校で使用予定をまとめ、15日から22日に優先①が申し込み、25日以降は一般の申し込みを受け付ける形にしたい。
- ・その他の②として、小体育館等の使用についても体育館の開放事業と同様な扱いになるよう考えている。

○意見等なし

② 地域スポーツ活動への移行に向けた実証事業について （資料5；本田副主幹説明）

- ・この事業は、国の補助を活用して実施するもので、目的は、受け皿となるクラブ指導者確保に向けた支援や、移動手段の確保などの支援と考える。
- ・実施内容の一つとして、スクールバスの空き時間を活用し、中野市地域クラブ等に参加する生徒の移送支援を行う。案の段階だが、毎週水曜日を予定している。水曜日は、部活動の休養日であり、中野市地域クラブの活動が多い。
- ・期間は、3ヶ月間とし、できるだけ多くの生徒を移送したいため、5月～7月に行う。
- ・運行ルートは、AルートとBルートと予定し、時計の反対周り与时計回りの予定である。
- ・使用するバスは、高社小学校のスクールバスと、豊田小学校のスクールバスとし、帰りについては、保護者の方にお迎えを依頼する。
- ・料金はいただかない。
- ・詳細は、校長会や地域クラブ等と詰めていく予定。
- ・二つ目として、地域クラブ活動指導者研修会を実施予定である。例として「地域スポーツクラブ活動に携わる指導者全員を対象とした研修会」「指導者に対して、資質向上のための研修の受講や資格取得の促進」「体育協会と連携した指導者育成研修会」「コンプライアンス研修会」「地域クラブ活動の方針や志向等に応じた参加者の安全確保や、見守りに重点を置いた研修」の実施を考えている。
- ・研修会は、年2～3回程度の開催を予定し、講師は専門の方に依頼する予定。

○意見等

- ・指導者研修は大変重要と考えるが、指導者の中にはプロの方や遠方の方もいる。そのような指導者にも研修を実施するとなると、研修のための経費がかかってしまうのではないかな。
- ・バスの移送について、具体的なイメージがわからない。
⇒国の補助金を活用した実証事業で、他の中学校等で行われるクラブ活動への移動に利用してもらう想定での案である。今後、活動場所・曜日・時間と利用希望者をみて進めていきたい。また、バスの時刻まで待機する場所等も考えたい。
- ・例えば、吹奏楽部の生徒が、平日の合同練習の移動で使えるようなスクールバスの活用のような使い方ができればよいと思う。

③ 吹奏楽部・合唱部・卓球部の地域移行に係る意見交換会を受けて（資料6；和田指導主事説明）

- ・地域への移行に課題が多くあると思われる吹奏楽部・合唱部、卓球部の顧問や指導者による意見交換の状況と要望について、資料の15p～17pにまとめた。
- ・意見交換の内容はお読みいただきたい。
- ・地域移行の方向については、意見交換会のまとめとして、令和7年度に取り組んでいきたい内容で、顧問・保護者・外部指導者と具体的な検討を進めていく予定である。

○意見等

- ・吹奏楽では、まず合同で練習をやってみることから始めたい。そのためには、発表の機会を設け、そこに参加するために合同チームで練習するような形ができるとよい。保護者が見にくる機会にもなる。
- ・合唱では、市民音楽祭に多くの子どもたちが参加している。小学生と中学生が一緒にやれるクラブができてもいい。
- ・学校の校舎内で活動する場合、セキュリティの問題や施設管理の課題が大きい。検討いただきたい。
⇒校舎内の施設利用については現在検討している。
- ・卓球部の方向性はよいと思う。体協としても協力できるものは進めていく。
⇒保護者の方の協力をお願いするところから始まるかと思う。

○全体を通しての意見要望

- ・Eスポーツ、ゲームなどの幅広い活動も地域クラブとして認めていきたい。現在の部活動から移行するだけでは、参加する生徒が限られてしまうのではないかな。
- ・文化部では、地域の公民館活動との融合もできるとよい。
- ・地域クラブへ正式に移行する前に、部活動と並行して実施される保護者会での活動について、事故・ケガ等の責任が曖昧にならないようにしたい。また、大きな事故が起こったときの責任を地域クラブの指導者が負うことについて、十分に検討いただきたい。

(4) その他

- ① 令和7年度の地域クラブ活動（部活動含む）の推進予定 （資料7；和田指導主事説明）
- ・令和7年度の推進予定については、推進目標を大きく2つ設定し、5月、10月、2月の3回の協議会開催を考えている。

4 その他

○特に連絡等なし

5 閉会のことば（学校教育課長） 19:55